

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和5年3月7日

派遣決定番号

報告回次

4日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東久留米市	代表者名	富田 竜馬
担当者部署	企画経営室	連絡先電話番号	042-470-7704
担当者役職	課長	担当者氏名	森田吉輝
住所	203-8555 東京都東久留米市本町		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	武城 文明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	この1年間、DX視点による事務事業の改革・改善を全庁的に進めていくための方策及び意識醸成等にむけたご助言をいただきました。結果として、支援を依頼した各種DX推進の方向性及び体制等をかためることができました。
アドバイザーへの要望事項	自治体DXとデジタル田園都市国家構想総合戦略とリンクについて、掘り下げてほしい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年10月18日	支援・助言	有	令和5年2月6日	545
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年3月2日	支援・助言	10時30分	12時00分	0
				活動時間（分）	90

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	行政経営課長、行革担当主査、関係員、システム担当主査、関係員、秘書広報課広報係長、関係員	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和4年度は、大きく5点の課題に対する支援を受けた。①DX推進方針の策定、②DX推進方針を受けた財政健全経営計画(改定版)実行プランの改訂、③DXの視点からの改革・改善に資し、かつ様々なDXの取組等と並走できる効率的な改革・改善の枠組み及び手法の作成、④業務の実態を熟知する各業務所管課が、同じ考え方にしたがって課題を洗い出し、自律的にオンライン化・BPRを進めていくことに資する資料の作成。⑤LINE公式アカウント利用によるオンライン窓口開設に向けた検討と踏まえるべき留意点等。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	上記課題に対して想定する成果物は次のとおり。 ①東久留米市DX推進方針の策定、②東久留米市DX推進方針を受けた財政健全経営計画(改定版)実行プランの作成、③DX視点による改革・改善を進める要領の制定、DX推進アドバイザーの設置、市民視点を導入する手法の確立、④東久留米市オンライン化・BPRガイドラインの策定、⑤LINE公式アカウント導入に向けた推進体制の確立	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	今回は、課題①～④について策定報告を行い、主に上記課題⑤に対するアドバイスを受けた。アドバイスとして「市民視点とは、分かりやすさと直感的なUI、UXであり、全世代で使われるスマートフォンで最も使われるSNSアプリであるLINEを、行政が活用することは時代の要請。情報発信ツールの多チャンネル化がデメリットとなる場合は、市民アンケート等を行い、利用者数の実態に応じてツールの取捨選択を行ってもよく、便利さを取り入れつつ業務負担の総量を減らす取組みを、まずはやってみることが重要」等。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	今回、上記⑤LINE公式アカウント利用によるオンライン窓口開設に向けた検討に関する庁内用資料案についてアドバイスを受けたが、原案で問題ないことが分かった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた アドバイザーの支援により、上記「支援により目指す成果」①～④について策定等に至った。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	「DX推進方針策定支援及びDX視点による事務事業の改善への助言」として支援を依頼した内容としては、アドバイザーの支援により解決に至った。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	令和4年度に各種DX推進の方向性及び体制等をかため、令和5年度以降は、DX視点からの業務改革への意識醸成と共通認識が全庁的に深まり、各課が自律的にガイドラインに基づいて業務の見直しが推進されている。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認ください。
なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

